

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7202）

8目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「健康づくり文化」創造事業	7,390	12,422	△5,032	493		(雑入) 24	6,873	
トータルコスト	51,764千円（前年度 57,990千円）〔正職員：5.5人 非常勤職員：2.0人〕							
主な業務内容	健康づくり文化創造フォーラム、健康づくり応援施設等支援、推進体制整備等							
工程表の政策目標(指標)	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減（平成20年度を基準年として、5年以内に10%減）							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b></p> <p>県民一人ひとりが健康づくりの大切さを認識し、日常的に、地域全体で良い生活習慣を実践しようという機運を盛り上げるとともに、それぞれが支え合う環境をつくり、世代を超えて受け継がれていく「健康づくり文化」の創造へ繋げる。</p>								
<p><b>2 主な事業内容</b> <span style="float: right;">（単位：千円）</span></p>								
区 分	事 業 内 容							予 算 額
健康づくり文化創造フォーラム	<p>「健康づくり文化創造宣言」から3年目を迎え、「健康づくり文化創造」推進を目指す関係者が連携して全県的なフォーラムを開催し、県民に健康づくりの楽しさ、大切さを一層PRする。</p> <p>○「健康づくり文化創造フォーラム」の開催</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演：ウォーキングに関する講演、食の講演</li> <li>・パネルディスカッション：食育、禁煙、運動をテーマにした健康づくりについて</li> <li>・健診コーナー：体脂肪測定、血圧、血糖検査等</li> <li>・パネル展示：ストレッチ、食育 等</li> </ul>							869
健康づくり応援施設(企業・団)支援事業	<p>健康づくり（運動・食事・禁煙）に積極的に取り組む施設・企業・個人を「健康づくり応援施設（企業・団）」に認定し、地域の健康づくりに協働して取り組んでいただき、県民の健康づくりの環境整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり応援施設(企業・団)の認定 平成21年12月末現在登録数 〔施設数〕禁煙776、運動17、食事78</li> <li>・応援施設による健康づくりに関する情報発信 食、運動に関するポスター等掲示</li> </ul>							416
わが社の健康づくりモデル事業	<p>具体的な健康づくりの目標を掲げて職員の健康づくりに取り組む事業所をモデル事業所に指定し、取組みを支援する。</p> <p>【期 間】特定健診・特定保健指導が開始された平成20年度からの3か年事業 平成22年度は、取組終了年となり、効果測定、最終評価、取組PR等を実施</p> <p>【対 象】中規模の事業所（東部：鳥取県商工会連合会、中部：株式会社エナテクス、西部：博愛苑）</p> <p>【目 標】「メタボ社員減」「喫煙率の半減」等</p> <p>【手 法】・県がモデル事業所に対し、取組に必要な運動グッズ（歩数計、セラバンド）等を貸し出す ・健康運動指導士等をモデル事業所へ派遣することにより、事前評価・運動処方・中間評価・フォロー研修・効果測定等を実施</p>							264

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予 算 額
健康づくり文化 創造事業の推進 体制整備 (その他の事務費)	《「健康づくり文化創造推進県民会議」の運営》(987千円) 県民の健康づくりに関わる関係団体の代表者等により「健康づくり文化創造プラン」推進のための具体的な施策について検討・推進する会議を開催する。 ・県民会議を核として、「健康づくり文化」を創造する県民運動の先導役として、県民の健康づくりを推進。 ・委員は、地域、職域、専門団体、関係団体、学識から計21人。 ・食、運動、心と体の各テーマごとに、関連する委員と専門委員(関係の深い専門分野から選出)による専門会議を開催。  (その他の事務費)(4,854千円) 東、西部福祉保健局非常勤職員各1名(健康づくり文化創造プランの普及啓発)	5,841
合 計		7,390

### 3 これまでの取組状況、改善点

平成20年度に、生活習慣病予防対策の重点化に対応させるよう「健康づくり文化創造プラン」を策定し、プランの取組を推進していく体制として、地域、職域等の健康づくり関係者をメンバーとした「健康づくり文化創造推進県民会議」を立ち上げ、連携を取りながら健康づくりの取組みを行っている。

平成21年度は、若手サブチーム提案事業により、日々家庭の中で健康づくりに取り組めるように鳥取県版「日常生活ストレッチング」と「食事ポイントカード」を作成した。また、運動と食事のバランスのとれた生活を推奨するためのイベント「みんなでげんきチャレンジフェスティバル」を開催し、その場でこれらをお披露目した。

さらに、誰でも取り組みやすく身近な健康管理としてウォーキングを推進した。

平成22年度は、県民が取り組みやすい健康づくりの一環としてウォーキングとストレッチを効果的に用い、地域や関係団体と連携して健康づくり文化創造を普及啓発していく。